

教団新報

定 価 1部144円(本体133円+共206円)
予約購読料 1年分 千共 5,150円
紙代のみ 3,600円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 道家紀一
編集主筆 渡邊義彦
印刷所 株式会社きかんし



石巻山城町教会(東北教区宮城北地区)

だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができましょう。艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。「わたしたちは、あなたのために一日中死にさらされ、屠られる羊のように見られている」と書いてあるとおりです。しかし、これらすべてのことにおいて、わたしたちは、わたしたちを愛してくださる方によって輝かしい勝利を収めています。わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のもものも、未来のもものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。

《ローマの信徒への手紙 8章 35～39節》

今年もイースターを迎えました。6年前に石巻の教会に赴任して以来、受難節からイースターへと向かう季節は同時に東日本大震災・福島原発事故を思い起こす季節でもあります。

震災から6年が経ち、目に見える形での街の復興は進んできました。私が仕えている教会の周りにもマンション型の災害

イースター メッセージ

何ものも神の愛から引き離すことはできない

ローマの信徒への手紙 8章 35～39節



関川 祐一郎

東日本大震災・原発事故から6年

公営住宅が2棟建ち並び、新しい店もでき、街の様子は日に日に変わってきています。

しかし、その一方で、

な仮設住宅で暮らしている方々が大勢おられますし、愛する人を失った悲しみを抱えておられる方もおられます。原発事

故により困難を強いられ、多くの人がいます。人々の心の復興にはまだしばしの時が必要で

この6年の間にも熊本の地震や水害など多くの災害が起こりました。それらの災害が起こる度に、私たちが突如として襲う苦しみや悲しみ、困難があることを思わされ

救いはどこに？

けれども、こうした中であって聖書の御言葉は私たちに語り続けます。それは神が私たちを愛し、キリストを通して救

いを与えてくださったという福音です。私たちはどこまでもこの神の愛から引き離されることはな

語っています。「だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができません。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か」

ここに挙げられている一つ一つは、パウロが伝道者として実際に経験した苦しみや危機でもありました。パウロの伝道者としての歩みは決して楽

キリストの愛から引き離されることなく

この問いにパウロは自ら答えます。誰も、そして何もキリストの愛から私たちを引き離すことはできないのだと。私たち

した。もはや、この世界は悪の力に支配されてしまったのではないか、神は自分たちを見捨てたのか、神の愛とは何であつたのか、自分たちが信じていたことは何だったのか、様々なことが心の

ができたなら…。自分の無力さを責めるほかならぬ、そのような状態であったかもしれない。しかし、時を戻すことはできません。愛する主イエスの死に整理をつけられないまま、自らの弱さと罪深さに苛まれながら、3日目の朝がやって

くださっていたのです。彼らは、神の愛、キリストの愛から引き離されるどころか、より強くその愛に結ばれていたのです。主イエスがすべてのものに勝利してくださいました。弟子たちの、そして私たちの苦しみ、悲しみ、弱さを引き受け、罪と死に打ち勝ってくださいました。

「しかし、これらすべてのことにおいて、わたしたちは、わたしたちを愛してくださった方によって輝かしい勝利を収めています。わたしは確信して

います。(中略)わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです」(37～39節)。

教会がいくつも建てられています。それらの出来事を通して、復活の主が確かにこの地のただ中に立っていかださることを思います。何が起ころうとも私たちは、キリストの愛、キリストを通して示される神の愛から引き離されることはない、むしろ私たちが御自身の愛の内に招いてくださっています。

のからすでに勝利してくださっている。イースターの出来事は私たちにキリストの完全な勝利を告げる出来事なのです。

そして、主イエスの十字架を前にして、主イエスのもとから逃げ出してしまった自分の罪深さと弱さに直面させられまし

た。あの時、なぜ自分は逃げてしまったのだろうか。時間を巻き戻すこと

神は、弟子たちを見捨てたのではありませんでした。むしろ、キリスト

震災によって悲しみに覆われた地で、キリストと出会い、洗礼へと導かれ、キリストの体なる教会に結ばれる人々が起こされています。そして、新たにキリストの体なる

一度、この恵みに立ち帰りたいと願います。今日も、そして明日も私たちは、キリストの愛と復活の命に生かされているのです。

イースターを通して今

主イエスが十字架に架けられたとき、弟子たちは絶望の淵に立たされま

た。あの時、なぜ自分は逃げてしまったのだろうか。時間を巻き戻すこと

神は、弟子たちを見捨てたのではありませんでした。むしろ、キリスト

震災によって悲しみに覆われた地で、キリストと出会い、洗礼へと導かれ、キリストの体なる教会に結ばれる人々が起こされています。そして、新たにキリストの体なる

います。(中略)わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです」(37～39節)。

教会がいくつも建てられています。それらの出来事を通して、復活の主が確かにこの地のただ中に立っていかださることを思います。何が起ころうとも私たちは、キリストの愛、キリストを通して示される神の愛から引き離されることはない、むしろ私たちが御自身の愛の内に招いてくださっています。

イースターを通して今

(石巻山城町教会牧師)



東日本大震災 6 周年記念礼拝
(3 月 10 日、早稲田奉仕園スコットホールにて)

東日本大震災救援対策本部終了にあたって

断固たる告白に導かれた

東日本大震災救援対策本部長 石橋秀雄

日本基督教団の東日本大震災救援対策本部の活動を終える時を迎えた。被災地の抱える課題の深刻さは時の経過と共に変わるが、被災者への祈りは終わることがない。しかし主の憐みを受け、被災者支援、被災教会支援と、計画された支援活動を終結する時を迎えた。私は 2011 年 3 月 13 日から 16 日まで幹事たちと被災教会を回覧し、3 月 28 日、31 日は、神学生と共に「祈りと奉仕」の旅をなしたことによって二つの力が示された。

一つは、御言葉が与えられたこと。石巻の津波の凄まじい破壊の中、衝撃を受けて言葉を失って歩く中で、詩編 124 編

8 節「わたしたちの助けは天地を造られた主の御名にある」との御言葉が心に響いた。この御言葉を掲げて「東日本大震災に関する議長声明」を出し、この御言葉に導かれて大震災の重い課題に取り組んだ。

二つ目は「祈ること」。神学生と共に被災地でのボランティア活動の後、釜石で祈り、大槌町で祈り、山田町で祈り、宮古で祈った。神学生と共に津波の破壊の地に立って涙を流しながら祈った。背負い切れない重要課題

を担って行かなければならない責任に押しつぶされそうになっているとき、「この祈ること」が示された。そして「祈ることから始めよう」と毎月 11 日 2 時 46 分に祈りたいと「11・2・46 祈りの日」を定め、全国の教会に訴えた。全国の教会で、この日、この時間を覚えて祈り合ってきたことは大きな力となった。

世界の教会から励ましと支援のメッセージが沢山寄せられ、祈られ、想像もできない多額の献金

2011 年 7 月に被災教会の被災状況を調べ、被害額を 10 億円と見積もり、その内 5 億円を教会堂・牧師館復興支援に、そして被災者支援を 5 億円として 10 億円献金を全国の教会に訴えた。この金額は、誰もが不可能と思える額だった。しかし、国内募金 10 億 2 億 9 千万 6 千 7 百 7 円(17 年 3 月末

と目標を超える献金が、キリスト教学校、福祉施設などの協力をも得て達成した。海外献金は 4 億 8 千 1 万 2 千 0 4 円(同)と多額の献金が与えられ



張 P C T 前総幹事に
支援の感謝を表す

教団の被災者、被災教会支援活動をなすことができた。特に台湾長老基督教会(PCT)は、多額の献金と共に「教団が被災者支援をし続ける限り支援する」と教団を支え続けてくれた。当時 PCT 総幹事であった張徳謙牧師を、2017 年 3 月 10 日、震災 6 周年記念礼拝(主催:救援対策本部)

に説教者としてお招きしたことに感動した。教団の教会・伝道所の祈りと支えに感謝したい。詩編 124 編の詩人が苦難の中で生ける主に会い「わたしたち助けは天地を造られた主の御名にある」との断固たる告白。この告白を告白する教団に導かれたことを主に感謝したい。

協働の結実に想う

東日本大震災救援対策本部担当幹事 飯島 信

前任の加藤誠世界宣教幹事から職務を引き継いだのは、2012 年 8 月だった。

最初に取り組んだことは、本部が被災地復興支援のボランティアセンターとして設置したエマオ・仙台・石巻・ハートフル遠野(後にセンターを移転し釜石と改称)の働き

の全容を把握することだった。それは被災地訪問から始まり、雲然俊美本部書記が作成した問答プログラムに沿って、山元克之牧師(花巻・当時)、村谷正人牧師(大船渡)の協力を得ながら被災地の現状を知ることが出来た

ことは、その後の活動にとって大切な意味を持った。それに加えて、エマオ仙台・石巻・ハートフル遠野を訪ね、ボランティア活動をこの目で見、スタッフの働きを知ることによって、担当幹事として何をしなければなら

ないのかが明らかになった。本部がその任を負った仕事は二つある。被災した教会の復興支援と被災地に生きる人々への支援である。まず前者に取り組みつつ、同時に出来る限り後者にも取り組むことが求められた。この両者を推進するにあたって

大きな力となったのが国内外の教会の祈りと献金だった。目標の 10 億を超えた 1700 余の教会からの国内献金は、おもに会堂の再建に用いられ、UMCOR(合同メソジスト教会海外災害支援部、EMS(福音連帯宣教会、RCA(米国改革派教会)などからの 4 億

を超える海外献金は、被災地に生きる人々のため

のプログラムに用いられる。忘れてはならないことがある。被災地支援の働きに関連して、東京 YMC A、台湾基督教長老教会(PCT)、新日本フィル

ハーモニー交響楽団員と仲間たちによる協力であった。また、被災教会が負っている教団からの貸付金返済支援のためのチャリティー・コンサートを開催してくれた諸教会の協力である。これらの協

力がどれほど大きなものであったかを言葉で表現することは困難である。

例えば、東京 YMC A は、28 回に及ぶ「こひつじキャンプ」のほとんど全てにスタッフとリーダーを派遣し、さらに費用面でも協力を惜しまなかった。PCT について言えば、震災当初の大きな

たり福島の子を招き、綿密な準備のもと素晴らしい歓迎をしてくれた。演奏家たちの支援も心に残る。釜石や石巻などの仮設住宅集会所に何度も足を運び、温かな演奏で仮設の方々を包み込んでくれた。チャリティー・コンサートを開催してくれた教会も忘れることが出来ない。演奏会終了後、帰途に着く参加者に牧師自ら声を張り上げ、募金を集めてくれた。

こうして、文字通り、日本基督教団の総力を挙げて 3・11 復興支援事業は協働の美りを豊かに結ぶことが出来た。それは、神が成せる業に私たちが祈りをもって参与することが出来たことの感謝でもある。

《関東教区》東日本大震災被災 6 周年記念礼拝 揺り動かされるもの 動かされないもの

関東教区・被災 6 周年記念礼拝は、教区被災教会中、最後に再建された水戸中央教会(2016 年 7 月 17 日献堂式)で行われた。司式、飯塚拓也宣教部委員長。竜ヶ崎教会の子どもたちが礼拝文の先唱や聖書朗読を分

担した。震災後に生まれた子どもたちによって、被災を乗り越えて生ける命の強さと、命を守り育ててゆく大人の責任が示された。

説教は、秋山徹教区議長。ヘブライ 12 章より「揺り動かされるものと」「揺り動かされないもの」の対比が示

された。建物揺り動かされ壊れたが、主イエス・キリストにある信仰は揺るがされることなく、世界中からの支援を得て、より素晴らしい礼拝堂が与えられた。すべてのことは相働いて益となる一例である。

再建を終えた教会ではどこも礼拝出席者や信仰を求める人々が増えている。大きな苦難であったし、今もその苦難の中に私たちはあるが、御言葉は揺らぐことなく、その御言葉に押し出されて御言葉

を巡っている。福島原発事故の被災者、奥羽、東北教区、支援センターエマオ、放射能支援対策室いずみ、熊本・大分地震、関東東北豪雨などの被災教会を祈りに覚えた。



ピースキャンドルを灯し礼拝をささげる
(3 月 11 日、水戸中央教会にて)

兵庫教区代表、古澤啓太牧師が挨拶。水道や橋や道路が分断されても分断されないものは、私たちの主イエス・キリストにある連帯であること、震災を通して強められる連帯の希望が語られた。

(山本隆久報)

▼救援対策本部会議▲

6年間、通算53回の会議を終える

3月6日、教団救援対策本部最後となる40総会期第3回（通算第53回）会議を教団会議室にて開催した。

会議に先立って教団派遣専従者からの報告を受けた。平田信之専従者（ハートフル釜石）からは、復興公営住宅の入居状況のほか、お茶っこサロン

活動継続について釜石市社会福祉協議会と相談していること等が報告された。佐藤真史専従者（エマオ石巻）からは、高齢の方たちへの在宅支援、子どもたちへの支援の必要性等が報告された。報告の後、それぞれの働きに対して感謝の祈りをささげた。

会議においては報告事項として、1月末現在で

国内募金が10億2819万9823円、海外からの献金が4億811万2041円と報告された。次に救援対策室および担当幹事より、被災教会貸付金返済状況、救援対策本部活動終結準備、東日本大震災6周年記念集会開催準備、教団救援対策本部会計等の報告がなされた。

れた。続いて、奥羽・東北・関東の各教区から、被災教会借入金返済状況、教区内被災教会支援活動等の報告がなされた。

審議事項では、郡山で放射能問題に取り組みグループへの活動支援、全国募金郵便振替口座閉鎖等を承認した。なお被災3教区幼稚園・保育園の建物被害復興支援申請に關しては、本部会計からの支援は困難であるため、申請には応じられないことを伝えることとした。

また、救援対策本部活動終了後の支援等に関して、40総会期第1回常議員会において設置した救援対策継続事業委員会への申し送り事項を確認し、本部会計決算の確認等のために、5月8日に開催される同委員会に本部委員が出席することにした。

以上をもって6年間に及ぶ本部会議を終えた。（雲然俊美報）



救援対策継続事業委員会に今後を引き継ぎ

▼社会委員会▲

教務委員会としての位置づけを確認

40総会期第1回社会委員会が、2月27～28日、教団会議室で開催された。

開会礼拝の後、組織会を行い、互選により委員長に森下耕、書記に石井佑二を選任。委員は加藤孔二、松本敏之、高承和、

決した。特にその中で、日本キリスト教社会事業同盟との関係を保ち深めること、基地問題・死刑制度・放射能問題など「命」の問題を継続して取り扱うことを確認した。

大三島義孝担当幹事より、本委員会は教規第42条4項に基づく委員会であり、「活動委員会」ではなく「教務委員会」としての機能を持つ委員会として位置づけられてきたことが説明され、今総会期においても同様の働きを果たすことを確認した。

社会委員会通信を発行し、フィールドワーク等で得られた事例を教団全体に発信して行きたい。また時期を捉えたメッセージの発信を心掛けた

第137回神奈川教区総会



第137回神奈川教区定期総会が2月25日、清水ヶ丘教会で開催された。出席者は議員総数232名中開会時171名。開会礼拝は大野高志牧師の司式により行われた。孫裕久副議長により「神奈川教区形成基本方針」が朗読され議事に入った。

まず、笹野信治氏、飯田瑞穂氏の按手札執行が可決され執行された。

次に2017年度教区活動基本方針案および活動計画案が原案通り承認された。2017年度教区予算案については一部修正のうえ可決され、各教会負担金割当額については、財務委員長より修正案が提出され、可決された。2017年度会計監査委員として窪田秀幸氏、石川孝幸氏、和田明氏が選任された。

今回の教区総会は例年になく議事が順調に進み、選挙を除く議事は予定時間内に終了した。しかし、常置委員の選挙結果は、総会後、旧常置委員による臨時常置委員会にて開票結果を確認することとなった。

旧教区三役・常置委員の働きに感謝し、新しい教区三役・



受按者を紹介



後列左から、松本、加藤、高橋、高前
前列左から、石井書記、森下委員長、原田、各委員

関係委員会への派遣に關して、宣教委員会に委員長を派遣する他、日本キリスト教社会事業同盟、日本キリスト教保育所同盟に各1名を派遣することを可決した。各団体との関係を保ち、深めて行きたい。

クリスマス献金をもとに実施している社会福祉施設への援助については、各教区より推薦された7施設について、提出された書類を慎重に審査した結果、その内6施設に各10万円を送ることを可決した。

本総会期の活動日程を決めた。全国社会委員長会議は、2018年6月25日～26日に東京での開催を予定している。（石井佑二報）

消息

志知馬太一氏（隠退教師）



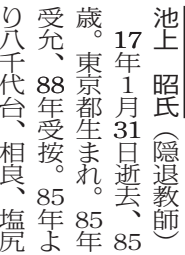
16年11月9日逝去、94歳。51年日本神学専門学校卒業。同年より浜松元城教会を牧会し96年隠退。遺族は妻・志知和子さん。

淡路多恵子氏（隠退教師）



17年1月22日逝去、85歳。大阪府生まれ。96年日本聖書神学校卒業。同年より弓町本郷教会を牧会後、信愛報恩会に務め、06年隠退。遺族は息・淡路雅彦さん。

池上昭氏（隠退教師）



17年1月31日逝去、85歳。東京都生まれ。85年受允、88年受按。85年より八千代台、相良、塩尻アイオナ、上山教会を牧会し07年隠退。遺族は妻・池上正子さん。

嶺重 知氏（隠退教師）



17年2月23日逝去、92歳。山口県生まれ。57年関西学院大学大学院卒業。同年より札幌、山崎、主恩、小阪、東梅田、泉

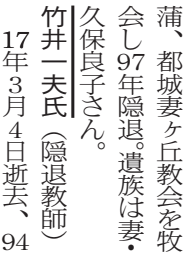
北梅教会を牧会し05年隠退。遺族は妻・嶺重淑恵さん。

久保 亨氏（隠退教師）



17年2月26日逝去、83歳。長崎県生まれ。61年日本聖書神学校卒業。同年より大村、ポリビアのラ・クロリア、島原教会を牧会し、愛の泉愛泉寮に務め、八王子栄光、菖蒲、都城妻ヶ丘教会を牧会し97年隠退。遺族は妻・久保良子さん。

竹井一夫氏（隠退教師）



17年3月4日逝去、94歳。48年日本基督神学専門学校卒業。同年より幕張、二本松教会を牧会し東北学院に務め、95年隠退。遺族は妻・竹井一子さん。

魚屋 茂氏（隠退教師）



17年3月8日逝去、90歳。富山県生まれ。53年農村伝道神学校卒業。同年より日進、藤枝、岩本、魚津教会を牧会し95年隠退。遺族は息・魚屋義明さん。

事務局報

教師異動
青山学院中等部
辞教 西田恵一郎

2016年度 発売商品案内



福音書記者マタイの正体

その執筆意図と自己理解

澤村雅史

マタイ福音書の執筆目的について、通説を鋭く問う直しその意図に新しく迫る。気鋭の新約学者による刺激的論考。 ●A5判・194頁・2160円

▲2016年12月刊

現代キリスト教神学

理解を求める信仰

上巻

D・L・ミグリオリ 下田尾治郎 訳
組織神学を構築する各分野を概説。現代英米圏で愛用され信頼される、キリスト教神学を学ぶ上で最良のテキスト。 ●A5判・346頁・4536円

▲2016年8月刊

神のいつくしみ 苦しみあわれむ愛

2016年上智大学神学部夏期神学講習会講演集

片山はるひ／高山貞美 編著

いかにいつくしみにあふれる神の愛を知り、伝えていけるのか。聖書、神学、霊性といった観点からの論考6本を収録。 ●四六判・170頁・1944円

▲2017年3月刊

説教への道 牧師と信徒のための説教学

加藤常昭

与えられた聖書テキストに向き合い説教に至るまで、説教作成のプロセスを実際に丁寧に解き明かす。 ●四六判・178頁・1728円

▲2016年4月刊

ルターから今を考える

宗教改革500年の記憶と想起

小田部達一

宗教改革者ルターの行ったことをどのように想起するのか。その生涯と思想を追い、今につながる課題を見据える。 ●A5判・258頁・2700円

▲2016年9月刊

ルワンダ 闇から光へ

命を支える小さな働き 竹内緑

ルワンダ大虐殺の地で医療活動に従事している看護師の体験エッセイ。和解を求めて働いてきた日々を綴る。 ●四六判・104頁・1296円

▲2016年4月刊

TOMOSELEKT

がん哲学外来で

処方箋を

カフェと出会った24人

樋野興夫 編著

医療現場と患者の間の「隙間」を埋める「がん哲学外来」の紹介と、「言葉の処方箋」を得た24人の体験記。 ●四六判・160頁・1620円

▲2016年5月刊



三浦綾子366のこぼれ

森下辰衛 監修

松下光雄 監修協力

『氷点』『塩狩峠』『銃口』など三浦綾子の著作から366の珠玉のこぼれを厳選して収録贈り物に最適。 ●四六判・160頁・1620円

▲2016年7月刊



第2期 井上洋治著作選集 全5巻

山根道公 編・解説

若松英輔 解説

6人はなぜ生きるか

イエスのまなざし 日本人とキリスト教抄
井上神父初の講演録『人はなぜ生きるか』全編と、思索のルーツを示す『イエスのまなざし』よりエッセイ5本を収録。 ●A5判・250頁・2700円

▲2016年12月刊

《第1回配本》

7まことの自分を生きる

イエスへの旅

賢治や芭蕉らを捉え直す『7まことの自分を生きる』と、日本の福音宣教のあり方を探求する『イエスへの旅』を収録。 ●A5判・268頁・2700円

▲2017年2月刊

《第2回配本》

アガペーの言葉

山崎英徳

神のアガペー（愛）が、実際に触れることのできる温かさをもつて感じられる80のメッセージ集。 ●A5判・192頁・2160円

▲2016年7月刊

教会を通り過ぎていく人への福音

今日の教会と説教をめぐる対話

W・H・ウィリモン／S・ハワース

東方敬信／平野克己 訳
大学チャペルに集う会衆、即ち教会に根づかない「通り過ぎていく人」に語られた10の説教と神学者の応答。 ●四六判・242頁・2676円

▲2016年8月刊

十字架上の七つの言葉と出会う

W・H・ウィリモン 上田好春 訳

イエスが十字架上で語った七つの言葉をとりあげた説教集。この言葉のインパクトをいかに受けとめるのか。 ●四六判・224頁・2676円

▲2017年3月刊

ガラテヤの信徒への手紙を読もう

自由と愛の手紙

船本弘毅

ルターが愛したガラテヤ書を、現代を生きる私たちはどう読むのか、そのメッセージを読み取り平易に解説する。 ●四六判・162頁・1620円

▲2016年6月刊

聖書の中の祈り

大島力

アブラハムやモーセ、イエスなど、旧・新約聖書に登場する12人の祈りを通して、聖書に学ぶ祈りの入門書。 ●四六判・128頁・1404円

▲2016年6月刊

祈り

左近豊

キリスト教信仰の基本を知る・学び直すシリーズ、最終巻。旧約聖書、新約聖書における祈りについて解説。 ●四六判・160頁・1404円

▲2016年10月刊

聖書人物おもしろ図鑑

新約編

オールカラー

中野実 監修
古賀博／真壁蔵／吉岡康子 編
金斗鉦イラスト
新約聖書に登場する人物を楽しいイラストで簡潔に紹介。たとえ話もイラスト化。大人も子どもも楽しめる聖書入門。 ●四六判・112頁・1620円

▲2016年11月刊



そうか！なるほど!!

キリスト教

荒瀬牧彦／松本敏之 監修

キリスト教に関する50の素朴な問い、難解な問いにその道の専門家が「本気で」かつ簡潔に見開き2頁で答える。 ●A5判・136頁・1620円

▲2016年9月刊



10代のキミへ

いのち・愛・性のこと

高橋貞一郎 監修

キリスト教的な視点から、思春期の「いのち」「愛」「性」への葛藤や好奇心に寄り添い、メッセージを贈る。 ●A5判・160頁・1944円

▲2016年11月刊

希望の教育へ

子どもと共にいる神

レギーネ・シントラー 深谷潤 訳

祈り、善悪、苦しみ、死など子どもを囲む世界を丁寧に読みつめ、ひとつの宗教に根差すことから広がる希望を語る。 ●四六判・272頁・3388円

▲2016年10月刊

讃美歌21による

CD版 礼拝用オルガン曲集 全6巻

第4巻 礼拝の時と教会暦1《最終回》

礼拝・アドヴェント・クリスマス

飯靖子／志村拓生 演奏

使用ストップと演奏のポイントが分かる音楽CDシリーズ最終巻。曲集の編者による演奏の最新録音。 ●44曲収録・1944円

▲2016年8月発売

クリスマス

絵本

ヤン・ピエンコフスキー 絵 木原悦子 文
ケイト・グリーナウェイ賞を二度受賞した絵本作家による、美しい切り絵と鮮やかな色彩が織り成すイエス降誕ものがたり。 ●A4判変型・24頁・1620円

▲2016年10月刊



オンデマンド復刊

日本の説教第9巻

渡辺善太

加藤常昭 解説

聖書正典論を主唱し、神学教育者として多くの伝道者を育て、優れた説教者として活動した渡辺善太の珠玉の説教14篇を収録。 ●四六判・272頁・2700円

▲2017年1月復刊／初版2003年

日本の説教Ⅱ 第13巻

榎本保郎

後宮俊夫 解説

牧師として、アシシラム運動の指導者として、言葉に從うことに命を賭けた説教者・榎本保郎の13篇の説教・講演を収録。 ●四六判・224頁・2700円

▲2017年1月復刊／初版2007年

新し帳

ミッシェンダイアリー2017

大きな文字で見やすいB6判手帳が新発売。見開きの年間・月間・週間予定表を備え、教会暦・教会行事暦・聖書日課を表記。 ●B6判・160頁・1620円

▲2016年9月発売

宗教改革500年記念 読者プレゼントキャンペーン開催

宗教改革を取り上げた新刊書籍・雑誌についている応募マークを集めると、点数に応じた金額の図書カードがもれなくもらえます！
宗教改革の理解を深めながら、めざせ500点！

応募について

応募マークは対象書籍の帯と対象雑誌の誌面に印刷され、それぞれ点数が設定されています。各コースの応募に必要な点数を集めて、専用の台紙ハガキまたは郵便ハガキに貼り付け、必要事項（お名前・お電話番号・ご住所・応募コース・合計点数）をご記入の上、お申し込みください。

応募マーク見本



応募賞品

A コース

500点
図書カード3000円



B コース

360点
図書カード1000円



C コース

180点
図書カード500円



応募受付期間

第1期 2017年7月1日(土)～10月31日(火) 消印有効
第2期 2018年1月1日(月)～10月31日(水) 消印有効

対象書籍

新シリーズ2017年6月刊行開始！

シリーズわたしたちと宗教改革

監修 出村 彰／大住雄一 各巻 A5判 並製・200～250頁

宗教改革者が見出した光によって、
現代の教会と信仰を照らす！

各
60
点

第1巻 歴史

わたしたちは今どこに立つのか

藤本 満 ▶2017年6月刊行予定

第2巻 聖書

神の言葉をどのように聴くのか

大住雄一 ▶2017年6月刊行予定

第3巻 宗教改革の本質

どうしたら人は救われるのか

鈴木 浩 ▶2017年度後半刊行予定

第4巻 礼拝・讃美歌

新しい歌を主に向かって歌おう

菊地純子 ▶2017年度後半刊行予定

第5巻 教理問答・

信仰告白・教会規則

教会の形をどのように決めるのか

菊地信光 ▶2018年度前半刊行予定



▶2017年6月刊行予定

宗教改革と現代の信仰

倉松 功

四六判 並製・114頁
1,620円

▶2017年7月刊行予定

ルターと讃美歌

徳善義和

四六判 並製・250頁
2,592円

▶好評発売中

ルターから今を考える

宗教改革500年の記憶と想起

小田部進一

A5判 並製・258頁
2,700円

対象雑誌

信徒の友

B5判／
各 586円

各
20
点

2017年9月号
▶2017年8月10日発行

特集／宗教改革Ⅰ

2017年10月号
▶2017年9月10日発行

特集／宗教改革Ⅱ

教師の友

B5判／
1,650円

各
40
点

2017年7,8,9月号
▶2017年5月11日発行

特集／夏のプログラム
体験しよう宗教改革

礼拝と音楽

B5判／
1,473円

各
40
点

175号
▶2017年10月11日発行

特集／宗教改革(仮)

説教黙想

アレティア 編集主任◆加藤常昭
B5判／各 1,903円

98号
▶2017年9月11日発行

芳賀 力の巻頭論考を収録。

97号
▶2017年6月12日発行

徳善義和の巻頭論考を収録。

99号
▶2017年12月11日発行

加藤常昭の巻頭論考を収録。

日本語で書き下ろす聖書注解シリーズ 2017年9月刊行開始！

VTJ 旧約聖書注解 / NTJ 新約聖書注解
Vetus Testamentum Japonicum / Novum Testamentum Japonicum

- 5の特長
- ① 日本語で書き下ろされており、読みやすい
 - ② 原典の文書・文体・文法・語彙の特徴がわかる
 - ③ 聖書各書の歴史的・文化的・社会的背景がわかる
 - ④ 先入観に支配されず、聖書が提起している問題を理解できる
 - ⑤ 聖書の理解を通して、現代社会への深い洞察を得ることができる

NTJ 新約聖書注解 ガラテヤ書簡

第1回 配本

浅野淳博 (関西学院大学教授)

2017年9月刊行予定

VTJ 旧約聖書注解 出エジプト記

第2回 配本

鈴木佳秀 (フェリス学院学院長)

2017年11月刊行予定



日本キリスト教団出版局設立50周年
『讃美歌21』刊行20周年

感謝礼拝 記念講演会

2017
7.15(土)

午後1時30分～4時
(開場：午後1時)

入場無料(※要申し込み)

定員 300名
(先着)

出版局の歩みを主に感謝し、喜びの賛美をささげる音楽礼拝と、
今なお多くの人の心を魅了し励ます三浦綾子文学を味わう講演会を企画しました。
皆さまのお申し込みをお待ちしています。

感謝礼拝

【教】 ま かね いのぶ 真壁 巖 氏 (日本基督教団相愛教会牧師)

【奏】 しい な ゆう いたち うろ 椎名雄一郎 氏 (活水学院オルガニスト)

『讃美歌21』20周年記念聖歌隊
リードによる賛美

記念講演会

「希望とは、
にもかかわらず愛すること
——三浦綾子の人生と文学」

【講】 もり した たつ 森下辰衛 氏
(三浦綾子記念文学館特別研究員、
全国三浦綾子読書会代表)

会場 日本基督教団 富士見町教会
▶JR中央・総武線「飯田橋駅」西口より徒歩1分

申込方法 *申込締切／2017.6.30(金)
電話またはFAX、ハガキ、メールにて、氏名・
郵便番号・住所・電話番号を添えて、右記へお
申し込みください。

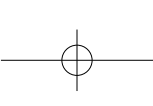
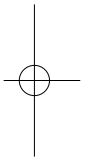
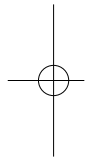
お問い合わせ・お申込先

日本キリスト教団出版局 出版局50周年記念企画係
▶TEL 03-3204-0422 ▶FAX 03-3204-0457
▶Eメール eigyou@bp.uccj.or.jp
▶ホームページ http://bp-uccj.jp

■主催／日本キリスト教団出版局

日本キリスト教団出版局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 ☎03-3204-0422 03-3204-0457
<http://bp-uccj.jp> *ホームページからのご注文も承っております。《価格8%税込》



(7)

2017 年 4 月 22 日

教 団 新 報

(第三種郵便物認可)

第 4859 号

2016 年度「謝恩日献金」明細

2017 年 3 月 31 日

教 区 名	活動教会数	献金教会数	参加比率	献金額	目標額	達成率
北奥東関	海羽北東京	63	53	84%	794,734	25%
		58	55	95%	1,995,797	103%
		82	55	67%	2,341,836	91%
		143	85	59%	2,163,246	28%
		239	139	58%	8,676,082	34%
東支区		51	24	47%	1,617,429	32%
西南支区		44	33	75%	2,590,829	35%
南支区		29	18	62%	1,176,159	32%
北支区		54	28	52%	1,307,418	22%
千葉支区		61	36	59%	1,484,247	40%
西神東中京大兵東西四九沖	東京海部都府庫国	96	66	69%	5,495,111	59%
		107	74	69%	4,032,553	33%
		95	59	62%	1,797,560	31%
		104	55	53%	4,978,085	79%
		77	33	43%	1,369,632	34%
		144	58	40%	2,316,350	26%
		110	53	48%	1,464,509	15%
		47	27	57%	750,716	32%
		68	30	44%	684,822	31%
		85	55	65%	1,311,862	47%
		126	66	52%	1,441,004	30%
		27	5	19%	80,100	15%
合 計		1671	968	58%	41,693,999	38%

◎奥羽・東北・東京・西東京・中部・京都・東中国教区には、教区としての「謝恩日献金」が含まれています。

特別献金	32件	25,776,351 円	謝恩基金献金	1 件	1,000,000円
------	-----	--------------	--------	-----	------------

2016 年度「隠退教師を支える運動100円献金」明細

2017 年 3 月 31 日

教 区 名	活動教会数	献金教会数	献金額	参加比率
北奥東関	海羽北東京	63	55	87%
		58	53	91%
		82	33	40%
		143	86	60%
		239	121	51%
東支区		51	23	45%
西南支区		44	28	64%
南支区		29	17	59%
北支区		54	17	31%
千葉支区		61	36	59%
西神東中京大兵東西四九沖	東京海部都府庫国	96	56	58%
		107	72	67%
		95	63	66%
		104	63	61%
		77	33	43%
		144	51	35%
		110	49	45%
		47	21	45%
		68	34	50%
		85	53	62%
		126	78	62%
		27	7	26%
合 計		1671	928	56%

「100 円献金」運動指定献金	42件	1,893,903 円
-----------------	-----	-------------

櫻井淳子	70,000
佐藤安彦(孝子)	5,000
鈴木木優子	24,100
高橋豊	50,000
故高橋信子遺族	24,500,000
都築英夫	2,100
沼田和也	2,000
藤原義子	20,000
藪田安晴	150,000
匿名氏	50
匿名氏	26,400
匿名氏	30,000
浅草教会	5,000
柿ノ木坂教会	20,000
鎌倉雪ノ下教会	60,000
小松川教会(原登召天記念献金)	20,000
信濃町教会	80,000
洗足教会	20,000
中渋谷教会	120,000
聖ヶ丘教会	55,000
広尾教会	10,000
横浜大岡教会	15,000
下谷教会婦人会	20,000
富士見町教会婦人会	33,701
用賀教会婦人会	10,000
東京教区西南支区	100,000
東京西南支区婦人会	20,000
青山学院初等部	10,000
青山学院中等部	5,000

謝 恩 基 金 献 金	1,000,000
会 堂 共 済 組 合	

「100 円献金」運動指定献金	1,893,903
浅川孝	6,624
熱田昭子	5,000
飯塚シヅ	5,000
池田貞子	10,000
遠藤富寿	5,000
小野澤照夫・明子	5,000
小野歌子	1,200
久保礼子	2,000
志村澄江	1,000
鈴木秀信	10,000
曾根田千恵子	10,000
立川俊弘	1,000
田中口静代	1,200
谷口榮夫	3,000
都津川五十鈴	20,000
神子澤悦子	60,000
森啓一	20,000
森信子	300,000
藪田安晴	30,000
山中博子	10,000
吉田真理	1,200
匿名氏	346
富田林教会オリブの会	5,000
京都丸太町教会シオン会	10,000
小田原十字町教会婦人会	10,000
大森めぐみ教会婦人会	13,200
佐倉教会婦人会	9,400
松沢教会婦人会	5,000
屋島教会婦人会	10,000
関東教区教会婦人会連合	100,000
東京・南支区婦人会	10,000
四国教区教会婦人会連合	10,000
北海教区道北地区	10,000
千葉支区	9,533
中部教区教育部婦人委員会	50,000
四国教区	2,000
全教区推進協議会有志	14,000
有限会社イースター式典社	12,000

大 阪

感謝してご報告します

西 東 京		
教 会 名	謝恩日献金	100円献金
西東京教区として	1,000,000	
新生	55,000	52,600
中野		105,100
野門	41,500	86,800
天門		3,000

▼監査委員会▲

今総会期の課題 4 点を確認

40 総会期第 1 回監査委員
員会が、服部能幸、辻康、
宮下重康の 3 名の委員全
員の出席で、2 月 28 日に
開催された。組織とし、
委員長を服部教師とした

が、監査という業務の性
質上、各監査委員は同等
であることが確認され
た。
委員会では、2016
年 12 月期までの経理状況



各委員同等に
左から、辻、服部委員長、
宮下、各委員

について計良祐時財務幹
事から報告を受けた。さ
らに、直近の状況につい
て、道家紀一総務幹事総
幹事事務取扱から報告
を受けた。
その上で、今総会期に
おいて共有して行く課題
として次のようなことが
分ちあわれた。

(1)財務幹事の交代期に
あたるので細心の注意を
もって 2016 年度決算
および 2017 年度の財
務執行を確認して行くこ
と。(2)東日本大震災救援

対策本部が閉じられる時
期を迎えるので、その決
算について注視して行く
こと。(3)全国財務委員長
会議などにおいて提示さ
れる各教区の財務諸表の
フォーマットが統一され
ていない現状の改善を関
係各位と協議して行くこ
と。(4)責任役員会、予算
決算委員会と共に、教団
の財務状況を把握して行
くこと。
その他、今後の日程等
について協議された。
(服部能幸報)

▼教師委員会▲

6 月開催、新任教師オリエンテーションを準備

40 総会期第 1 回教師委
員会が 2 月 28 日、教団会
議室にて開催された。委
員の半数交代もあり初め
ての顔合わせとなった。

互いに短い挨拶を交わし
て始めた。そして、菅原
力委員長を再選、書記に
古旗誠、その他、今期は
福島純雄、宮川経宣、金



後列左から、金澤、中村、上原
前列左から、宮川、古旗書記、
菅原委員長、福島、各委員

澤正善、上原智加子、中
村英之各委員が選ばれ
た。
今委員会で特に準備す
る必要がある事項は、新
任教師オリエンテーショ
ンである。6 月 12 日～14
日、ハートピア熱海で開
催する。交通の便が良く
前回から利用し温泉もあ
り好評である。参加者は、
2017 年春季教師検定
試験合格者等新任教師の
他、教団三役、神学校教
師など 70 ～ 85 名の参加を
予定している。

3 日間にわたるプログ
ラムは、新任教師にとつ
て牧会上の労苦を担って
いく励ましと慰めを得る

第 21 回 全国牧師夫人の会

テーマ 共に歩む幸い ～つかわされた場所で主の恵みを～

- ◎日時 2017 年 8 月 21 日(月)～23 日(水)
- ◎会場 静岡・ホテルアンピア松風閣
- ◎費用 申込金 3,000 円
参加費 30,000 円
- ◎開会礼拝 静岡教会にて
(説教・伊藤瑞男牧師)
- ◎発題 軽込昇牧師、横山ゆずり牧師
片岡照美さん
- ※牧師夫人・教職に限らず、どなたでもご
参加下さい。
- ◎申込・問合せ 全国教会婦人会連合
(電話 03-3203-4258)

公告

教師検定委員会では、教師検定規則第 6 条 ⑥
に基づき、同規則第 3 条 6 号対象者(所謂 C コー
ス受験者)に対する認定面接を左記のように実
施します。2018 年春季試験以降に新たに C
コース受験を志願される方は、本委員会の指定
した書類を 2017 年 7 月 28 日(金)までにご提
出したとき、左記日程の面接にご出席ください。
なお、面接要領・提出書類用紙については、百元
切手を同封の上、本委員会事務局に直接お申込
みください。

★認定面接

日時 2017 年 9 月 14 日(木)15 時～(予定)
場所 大阪クリスチャンセンター
なお、認定面接予定者には、書類受付後、案内
通知を送付します。
2017 年 4 月 22 日
日本基督教団教師検定委員会
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31
電話 03-3202-0546



木俣 忠 さん
木俣三枝子さん

御言葉に支えられて



1970 年、結婚と同時に北海道
道南・日進に入植。利別教会員。

「この生活は、聖書の世界
そのものです。だから、旧約
聖書にとても親しみを覚えま
す。こちらの山から日が昇り、
あちらの山に沈む。夜になる
と、季節に応じて現れる星座
が満天に広がります。24 時間、
自然と一体ですから」と、目
を輝かせて語ってくださる木
俣三枝子さん。
酪農は、命そのものに触れ
る仕事である。牛はストレス
に敏感で、気候の寒暑によっ
て弱るだけでなく、乳を搾る
人も健やかでなければならな
い。農場主の忠さんが健康を
損ねて入院したときには、一
気に乳量が落ちたという。
都会の生活は自分には合わ
ないと思って北海道・酪農学
園大学に入学したという忠さ
んは、大学在学中に野幌教会
で受洗し、卒業後 1 年間カリ
フォルニアで酪農実習した。
教会付属幼稚園教諭であつ
た三枝子さんと結婚すると同
時に、1970 年、道南の今
金町日進に入植。1 年たった
ころ、初めての子が生まれて
すぐに、動物からの菌に感染
して召されるといふ悲痛な体
験をした。そのときに、祈り
の中で与えられた御言葉が、
「どんな被造物も、わたした
ちの主キリスト・イエスにお
ける神の愛から、わたしたち
を引き離すことはできない」
(ローマ 8・39)であった。
以来、苦しいときはいつもこ
の御言葉を握りしめてきた。
「神さまが備えて下さったの
だから、助けてくださる」。
もう一つ、入植当初から絶
えず夫妻を支えてくれたのが、
大学の先輩でもある酪農
同志会の人々である。利別教
会員として信仰の歩みも共に
してきた。その同志たちの間
でも、今は次世代の若者が酪
農の経営を引き継いでいる。
仕事と共に、信仰の継承も始
まっている。
直接命に関わる仕事だから
こそ、信仰の継承を毎朝真剣
に祈らざるを得ない、と夫妻
は口を揃える。

御言葉に喜ぶ日々

築後 60 年の教会堂や付属の建
物を歩くと、至る所で聖書の御
言葉に出会う。額に入れて壁に
掛けてある書だけでなく、たく
さんの場所に御言葉が記されて
いる。教会の長い歩みの中で、誰
がそこに貼ったのか分からない
ものが数多くある。CS 分級室
の壁などには御言葉を書いた紙
が多く貼られている。子どもた
ちが御言葉に親しむようにと祈
りながら記したのであろう。ま
た日めくりになった御言葉カレ
ンダーのようなものも教会のあ
ちこちにある。時々、誰もがその
御言葉を味わうことにも繋が
っていく。普段何事もなく聞い
ていた御言葉が急に自分に迫っ
てくるという経験も、多くの
人々に共通のものである。
考えてみれば信仰生活は常に
御言葉と共にある。信徒の中で、
なかなか聖書が読めないという
言葉も聞くが、日々聖書を読む
工夫も多く為されている。御言
葉を喜び、御言葉に生きる生活
は私たちの人生の基本である。
教会堂に多くの御言葉が掲げて
あるのは、先達の証に他ならな
い。この御言葉に生きた人がい
る。この御言葉に喜び、生かさ
れた人がいる。子どもたちにこ
の御言葉を贈った人がいる。教会
は御言葉に生きる喜びが語りか
けられる場所なのである。
(教団総会副議長 佐々木美知夫)